



令和 7 年 9 月 29 日（月）発行 9 月号 題字 校長 （やちほあい）

若い力

校 長

9 月 1 7 日（水）の午後、体育館で全校球技大会が集会委員会の企画・運営のもと開催されました。開催時間に体育館に行ってみると開会式を行っており、全校生徒の前で司会や説明をしているのはなんと、1 年生と 2 年生でした。今回の球技大会の企画に 3 年生が関わっていないわけではありませんが、1、2 年生の「若い力」が堂々と全校生徒の前に立ち、話している姿を見て、とてもうれしくなりました。同時に「裏方に回った 3 年生のサポートも素晴らしい」と思いました。競技はドッチボールと巨大フリスビーを使ったドッチビーで、学年が入り混じった縦割りチームが協力し合い、とても盛り上がりました。

さて、「若い力」といえば、あの懐かしい歌を思い出します。自分が中学生の時、部活動の大会前の壮行式で全校生徒が選手に向けて歌ってくれた、退場時にも吹奏楽部が演奏してくれた歌です。「若い力と感激に 燃えよ若人胸を張れ 歓喜あふれるユニフォーム 肩にひとひら花が散る 花も輝け希望に満ちて 競え青春強きもの」という、自分が中学生だったその昔も「懐かしい響きの歌だなあ」と思ったような歌でした。昭和 22 年第 2 回国民体育大会（石川国体）のために作られた歌で、今でも石川県では県民に愛されて歌い継がれているそうです。私が中学校に入学し、野球部に入ったとき、3 年生は背番号の付いたユニフォーム姿で壮行式に現れて激励を受け、「若い力」の演奏で退場していく姿がとてもカッコよく、自分も 3 年生になったら背番号をもらって壮行式に出られるだろうか、出たいと思ったものです。先輩たちのカッコいい姿に「若い力」の歌詞が重なり、今でも記憶に残る歌になっています。



本校でも、2 年生はすでに部活動の最上級生となり、部活動の中でリーダーシップを発揮しています。10 月 2 日は上越地区合同新人各種大会があります。本校に壮行式はありませんが、1、2 年生の「若い力」が、背番号や学校ネームを付けたカッコいいユニフォーム姿で堂々と試合のフィールドに立ち競技する姿、応援する姿が目につくようです。秋の気配と共に、1、2 年生の成長が著しく感じられるうれしい今日この頃です。

「海まつり」今年も多くの生徒が参加！

まだ夏の日差しが強い晴天の9月6日（土）、八千浦地区明るい町づくり協議会主催の「海まつり」が、下荒浜特設会場で開催され、今年も多くの生徒が参加し、運営協力やパフォーマンスを行いました。

「海まつり」は八千浦地区の住民と小中学生、保護者が協力して行事を企画運営し、住民の融和や地域を担う子どもたちの郷土愛を育む目的で毎年開催され、本校が目指す「八千浦愛」の育成にも通じています。今年もオープニングに本校生徒の有志メンバーが「よさこい踊り」を披露しました。ステージ上で迫力のある踊りを披露した生徒たちは、満足の表情で演舞を終え、充実感を得ていました。地域住民と交流する中で感じた郷土の絆や達成感は、学校の中だけでは得られないものです。行事を運営して下さった地域・保護者の皆様に感謝します。



1年生が校外学習を実施

9月11日（木）、地域学習の一環で1年生は校外学習を行いました。まずは全体で上越妙高駅周辺の長谷川八郎碑、謙信公像、釜蓋（かまぶた）遺跡の見学を実施。釜蓋遺跡では勾玉（まがたま）づくりを体験し、遺跡に思いをはせることができました。午後は3グループに分かれ、樹下美術館、旧今井染物屋、旧師団長官舎などを見学しました。郷土の良さを改めて発見できた秋の一日となりました。



2年生が職場体験学習を行いました

2年生は、9月9日（火）から11日（木）の3日間に渡り職場体験学習を実施しました。職場体験学習は、キャリア教育の一環として、人と関わり、自己調整し、課題に対応し、将来を設計する力の育成を目指して毎年2年生で実施しています。今年も17の事業所に協力いただき、生徒は「働くこと」を実体験することができました。体験後の生徒の振り返りシートから、働くことの大変さとやりがいを見学できた様子が分かりました。事業所の方からも「積極的だった」との評価が多くみられました。社会人としてのマナーがまだ十分とは言えない評価もあり、今後の課題として引き続き生徒を支援します。



3年生が人権講話を受講しました

9月25日（木）、3年生は上越市人権擁護委員を講師に、人権講話を受講しました。今回は「新潟水俣病の被害者」に焦点を当てた講話をいただき、3年生は被害の概要と被害者の苦しみを学びました。人権尊重の精神を育成することは学校教育において重要です。10月には1年生で人権教育の授業を実施します。

